

事務事業名		防災対策事業(防火服購入)				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	安全安心な暮らしを支えるまちづくり				所属課	総務課	担当	地域安全担当
	施策名	消防・防災体制の強化				課長名	畑谷 陽一	担当者名	寺田 正
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	
		1	0	8	0	1	0	1	消防組組織法、塩谷町消防団の設置等に関する条例
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 (26 年度～
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 消防団の防火服購入事業で、東日本大震災復興推進基金事業で充当させ購入を考えております。 近年の災害等が多く、当町も今年竜巻が発生したところです。 昨年においては、平均7件の火災発生でしたが21件と3倍の火災が発生し建物が3件焼失したところです。 ついては、今、現在使用している防火服については40年以上使用しているために傷んでできていることから、全団員に配布については無理であるので1車両5人で活動の観点から120着位購入したいと思ひます。</p> <p>2 概算事業費(※ランニングコストが掛かる事業については、概算で算定し記入すること) 平成26年 防火服購入事業(防火服、ヘルメット、しころ) 120着 (事業費 9,720千円)</p>							

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等) ・消防団員348名の団員が現在おりますが、火災時の出動は全団員は出動はしなないと思われますが、1車両5人の出動を考えております。		名称	単位
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載) ・町住民		ア 防火服	着
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのかを記載) ・火災や災害等からを団員や住民の生命財産を守る。		イ	
		名称	単位
		ア 町人口	人
		イ	
		名称	単位
		ア 火災件数	件
		イ	

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 着	0	120				
	イ	実績値 着						
対象指標	ア	目標値 人						
	イ	実績値 人	12,480	12,400				
成果指標	ア	目標値 件						
	イ	実績値 件	21					

計画		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
事業費 投入費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	9,720	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	9,720	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間					
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	9,720	0	0	0

実績		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
事業費 投入費	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人					
	延べ業務時間	時間					
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	・近年全国的にゲリラ豪雨や竜巻等が多く、平成23年の東日本大震災のこともあり、また、火災等の件数が昨年は21件と例年の3倍発生したため住民の防災についての関心も高く団員の防護及び住民の生命財産を守ことから必要であるため。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	・現在使用している防火服については、購入した時期については不明であるが概ね40年以上経過しているものと思われる。かなり傷んでいる状況なので安全・安心を確保し早急整備する必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	・東日本大震災復興推進基金事業で購入する予定です。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	・受益者負担はない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 25 年 11 月 29 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等) (メモ) ・当基金が使えるのは、H27まで ・復興に資するものであれば認められる基金 ・町職員が着用する作業服の購入にあたり、当基金を充てることはできないか。(災害等で出勤する際、統一感を持たせるため) ・今後、基金の使途として良い案があれば企画調整課へ相談する

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 一 年 一 月 一 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業